

(別記)

2020 年度富岡町地域農業再生協議会水田フル活用ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当該地域は、2011 年の東日本大震災において、東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う避難指示を受けたため営農が困難な状況であった。2017 年 4 月に一部地域を除く避難指示が解除され、町民の帰還とともに営農再開へ向けた試験栽培及び保全管理が始まった。今後は、帰還困難区域である特定復興再生拠点において農地保全を継続し、並行して町内での営農再開に向けた活動を継続して推進していく。

現在は、既存農家により水稻、たまねぎを主として作付が再開されており、他の作物については、僅かずつであるが作付再開されているところである。

しかし、長期避難による帰還意識の減退や、風評被害による営農の困難など課題は多く、当町に戻り、作付を行おうと考えている農家も現時点では少数である。また、帰町した既存農家が営農計画を確立できないことから、産地交付金を活用し、営農経営再開の一助としたい。

2 作物ごとの取組方針等

稲作は震災前からのノウハウがあり、基幹品目であることから、推奨している。平成 30 年度より避難指示区域における実証栽培から通常の作付に移行し、作付面積の拡大を図ってきている。

(1) 主食用米

避難指示が解除されたエリアにおいて、除染が完了しモニタリング等によって安全性が確認されたほ場において作付を行う。収穫した米は全量全袋検査を行い放射能濃度が食品衛生法に定める基準値以下であることを確認して出荷する。

(2) 非主食用米

ア 飼料用米

今後の米需要の動向から、飼料用米の作付も主食用米同様に推進する。主食用米同様、全量全袋検査を実施し、放射能濃度が食品衛生法に定める基準値以下であることを確認して出荷する。

イ 米粉用米

取組なし

ウ 新市場開拓用米

取組なし

エ WCS 用稲

取組なし

オ 加工用米

取組なし

カ 備蓄米

取組なし

(3) 麦、大豆、飼料作物

取組なし

(4) そば、なたね

そばについては、除染後農地は地力の低下が予想され、痩せた土地でも栽培可能であり、栽培の手間がかからないため、中山間地域等の条件不利地域での作付けを拡大するとともに、実需者との結びつきを強める取組を支援する。また湿害を抑制するために排水対策を徹底し、品質・収量ともに向上を図る。

なたねについては、油糧作物として期待されており、品質の向上を図るとともに、産地交付金を活用して生産を推進する。

(5) 高収益作物（園芸作物等）

①野菜

収益率が高く栽培が比較的容易である地域振興作物について、県農業普及所および福島さくら農業協同組合の指導のもと、生産環境に配慮した品質の向上を図りながら、風評被害の払拭に向け、地域特産の野菜を目指し、産地交付金を活用した農地の集積の取組を推進し、作付面積の拡大を図る。

特に、「タマネギ」は、鳥獣被害も受けにくく、県により産地化を目指しており地域推奨作物として、当該地域においても推進する。今後も福島さくら農業協同組合、農業普及所と連携し、産地化に向けた取組を推進していく。

なお、収穫後に放射能濃度検査を実施し、食品衛生法に定める基準値以下であることを確認して出荷する。

②花き・花木

転作作物の選択肢の一つであり、専門的な生産管理や環境条件の整備が必要なことから、産地交付金を活用し、関係機関と連携を図り、県農業普及所および福島さくら農業協同組合の指導のもと、生産者の生産意欲を高める支援を行い、作付面積の拡大を図る。

特に、首都圏への販路が確保されており、収益性の高い作物である「トルコギキョウ」、「ユウカリ」に重点を置き振興作物とし、作付面積の推進を図る。

上記品目を重点品目とし、重点的な生産振興により、個性ある産地確立を図る。

(6) 畑地化の推進

作付意向調査等を踏まえ、地域においてまとまりのある畑地化の形成により、継続的な野菜等の作付けを推進し、畑作物の本作化を図る。

3 作物ごとの作付予定面積

作物	前年度の作付面積 (ha)	当年度の作付予定面積 (ha)	2020年度の作付目標面積 (ha)
主食用米	15.0	30.0	40.0
飼料用米	1.1	5.0	10.0
米粉用米	0	0	0
新市場開拓用米	0	0	0
WCS用稲	0	0	0
加工用米	0	0	0
備蓄米	0	0	0
麦	0	0	0
大豆	0	0	0
飼料作物	0	0	0
そば	0	5.0	10.0
なたね	0	5.0	5.0
その他地域振興作物	1.6	16.0	20.0
野菜			
・たまねぎ	1.6	8.0	10.0
・その他	0	2.0	5.0
花き			
・トルコギキョウ	0	3.0	5.0
・ユーカリ	0	3.0	5.0

4 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	目標値	
				前年度（実績）	目標値
1	飼料用米 (一般品種・多収品種) (基幹作物)	戦略作物助成	飼料用米の作付 面積の拡大	(R1年度) 1.1 ha	(R2年度) 5.0 ha
2	野菜 (たまねぎ) (基幹作物)	転作作物助成	転作作物の作付 面積の拡大	(R1年度) 1.6 ha	(R2年度) 8.0 ha

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

5 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり